

この愛は天空の調べ  
許されぬ恋を貫くふたりが生きる、運命の街ボンベイ  
映画大国インドが生んだ奇蹟のエンタテインメント



# BOMBAY

AALAYAM PRESENTS "BOMBAY" ARVIND SWAMY MANISHA KOIRALA NAZAR KITTU HARSHA & HRIDAY GUEST APPEARANCE: SOVANI BENDRE, S. NAGENDRA PRASAD  
CINEMATOGRAPHY: RAJIV MENON MUSIC: A. R. RAHMAN LYRICS: SHRI VAIRAMUTHU CHOREOGRAPHY: RAJU SUNDARAM PRABHU DEVA EDITING: SURESH UNIS SONGS & MUSIC RECORDING: H. SRIDHAR, S. SIVAKUMAR  
RECORDING & RE-RECORDING: V. SRINIVAS MURTHY, LAKSHMI NARAYANAN ART: THOTAA THARANANI COSTUME: MALINI SHIRAM PRODUCER: S. SRIRAM STORY - SCREENPLAY & DIRECTION: MANI RATNAM



マニラトナム監督作品 マニーシャー・コイララ、アラヴィンドスワーム



# ボンベイ



後援:インド大使館 配給:アジア映画社+オフィスサンマルサン



# ボンベイ

《インド独立50周年記念映画》

ボンベイ(オリジナル・タミル語版)

アーヤム製作/1995年/インド/カラー/シネスコ/モノラル/2時間21分

脚本・監督:マニラトナム

音楽:A・R・ラフマーン

撮影:ラージーヴ・メーナン

主演:マニーシャー・コイララ/アラヴィンドスワミ

サントラ盤「ボンベイ&インディラ」(メタ・カンパニー)

アラビア海の波しぶぎに踊る、鮮やかなブルー・サリー。  
赤い踊り子たちを縫うように舞う白い蝶のヒロイン。

＝世界最大の映画大国が生んだ  
恍惚と衝撃の傑作＝

90年代インド映画界最大の事件はマニラトナムの出現だった。南インド、タミル語映画の中心地マドラスを拠点とする'56年生まれこの監督は、ちょうど黒澤明の全盛時がそうだったように、監督の名前で観客が殺到するインド映画界初のスター監督として数々の傑作を放っている。この若き巨匠の代表作「ボンベイ」がついに日本上陸！たとえようもなく甘美に描かれる若い男女の恋。そして二人が巻き込まれるボンベイの大暴動！！

現実に起きた宗教暴動を背景に人間愛と寛容を謳いあげたこの史上屈指の問題作は、同時に映画の楽しさが画面一杯にはじける一級のエンタテインメントでもあるという希有な傑作である。アジア映画の最高峰がそのベールを脱ぐ日が来た。

＝あゝ素晴らしい！  
地上最強のミュージカルシーン、  
歌そして群舞！！＝

インド映画といえば歌と踊り。この映画でも開巻後すぐに最初のミュージカルシーンが炸裂。絶世の美女と言わせていただきたいヒロインのマニーシャー・コイララ。白いベールに濃いめのアイシャドウが映え、俯きがちに揺れる眼差し、赤い衣装の踊り子たちを従えて華麗に舞い踊る白い蝶…。映画の桃源郷とはかくやとばかりの忘れたいシーンの数々。現インド最強（ということは現在世界最強）の歌と踊りが爆発し、感動の終幕に突入する。音楽は、97年インド独立50周年記念アルバム製作を政府から委嘱されたA・R・ラフマーン。なんとこの映画では3曲が国内チャートNo.1に輝くという偉業を成し遂げ、TIME誌でも特集されたヒットメーカーである。百聞は一見に如かず、是非！

＝人類の平和と寛容を謳いあげる  
史上最大の問題作＝

1992年12月にヒンドゥー教徒のイスラム寺院襲撃という形で火を噴いた実在の「アヨディア事件」。瞬間にインド各地に飛び火した暴動は、ボンベイでようやく結ばれた主人公の二人にも大きな影を落とす。宗教を超えた愛を貫くため故郷の村を捨て平和に暮らしてきた二人を巻き込む大暴動が圧倒的な力で描出されていく。

事件の記憶も生々しいままに製作されたこの映画は、完成前から大きな注目を集めた。

検閲の壁とマニラトナム監督の自宅に爆弾が投げ込まれるという事件を乗り越え、公開されるや圧倒的な観客の支持を得たヒューマンな傑作の登場なのだ。

後援:インド大使館、インド政府観光局、インド貿易振興局、(財)日印協会

**98年初夏独占ロードショー!**

特別鑑賞券1500円絶賛発売中 当日:一般1800円/学生1500円

●テアトル・セブン系劇場窓口及び都内各プレイガイド、チケットぴあ、チケットセブンにてお買い求め下さい。

**銀座テアトル西友**

有楽町線銀座一丁目駅/銀座線京橋駅下車、徒歩1分 TEL.03-3535-6000

連日 10:30 1:20 4:10 7:00